

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう～少年教育推進目標～

## “休みの日、何して楽しもう？”「湧ゆう湧くわく体験塾」が「Xmas ケーキづくり」を行いました！

12月と言えばクリスマス。そこで体験塾では11月の Xmas リースに続き、12日に地場産品加工センターの辻さんを講師に、20cmホール（大きい！）の本格的な Xmas ケーキを作っちゃいました！

まず、皆で役割分担して生地を作り、型に入れて焼きあがるまでの時間でフルーツの飾りを作りました。焼きあがったケーキを回転台に乗せてクリームを塗るのにはかなり苦勞しましたが、2時間半ほどで「アイデアいっぱい、わたしオリジナルの Xmas ケーキ」ができて上がりました。塾生たちは、途中で飾りの味見（^^）をしたり、服の袖でクリームを味わったりしていましたが、とても楽しい体験となりました。



体験塾では町内の小学校4～6年生を対象に、様々な体験活動を土曜日に毎月1～2回行っています。

1月からは「氷下釣り」、「アザラシ餌やりと流氷体験（紋別）」など冬ならではの体験を予定しています。年度の途中からでも参加できますので、希望される方は教育委員会社会教育課社会教育グループ（Tel5-3132）までご連絡下さい。

子どもは町の宝 手を取り合い、支え合って育てよう ～家庭教育推進目標～

## ～親と子をつなぐデコパージュ～今年の家庭教育研修会は、素敵な小物作りです！

子育ても経験し、町内でアクセサリや生活雑貨の創作でもご活躍のSUNNY CLOUDYのお二人を講師としてお招きし、お子さんが日常使う物を素敵に作る企画です。

子育ての経験など話しながら、楽しいものづくりのひと時をご一緒しませんか？

ご家族での参加、小さなお子さんを連れての参加も歓迎します。

【日時】令和3年 2月14日（日）10：00～11：50

【会場】文化センターさざ波 多目的ホール

【内容】100円ショップのソーブディスペンサーとマグネットフックを皆さんの個人的なデコパージュで世界にただ一つだけの作品に仕上げます。

※デコパージュとは：美しい薄紙を専用の糊で貼りつけ素敵に装飾するクラフトです

講師 SUNNY CLOUDY（細川 佐和さん・木下 泉さん）

【持ち物】 工作はさみ

【材料費】 500円

【対象】 子育てに関心のある湧別町民

【後援】 湧別町 PTA 連合会

【申込】 2月1日（月）までに、湧別町教育委員会社会教育課（5-3132）にご連絡ください。

【その他】 事前の申込みが必要です。託児室を設ける予定ですので、託児を希望される方も2月1日までに申込みをお願いいたします。（就学前のお子さんを想定しています。）

【お問い合わせ】 教育委員会社会教育課 Tel5-3132



新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。



※当日は検温されるとともに、体調の悪い場合は来場をお控えください。また、今後の感染状況によっては、直前で中止や内容変更になる場合があります。急な変更は公式ホームページ等でお知らせいたします。

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

## ちよいトレ☆教室! ～No.20～運動指導職員 原 まほ 栄欽

## ◎ちよいトレ 目指せほっそり美脚!!



ベッドの上  
で行うのが  
おススメ!

つま先を前に倒して足首を直角にすると、太もも裏が伸びる。



足首を直角にするのがきつい場合は、つま先を伸ばす、倒すの動作を繰り返してもいい。

現代人は座っている時間が長いので、太もも裏が圧迫されてハムストリングスが硬くなりやすいと言われています。颯爽とした美しい歩き姿のためにも、ハムストリングスのストレッチは大切です。

## ■太もも裏のばし 10分程度

・足をまっすぐ伸ばし、つま先を手前に倒して足首を直角にする。

太もも裏伸ばしは、腰痛改善や緩和にも効果的です!



## ●第51回湧別町スケート大会に参加してみませんか?

湧別町スケート大会が開催されます。町内の幼稚園、保育所、小、中学生、一般の方々のたくさんの方の参加をお待ちしております。

- ◆ 日程 2月7日(日) 午前9時15分 競技開始
- ◆ 会場 芭露スケートリンク(芭露学園奥の旧芭露プール横)
- ◆ 主催 スケート協会
- ◆ 参加料 一人300円(但し、スケート競技以外の参加は無料です)
- ◆ 申込み 1月29日(金)まで。

教育委員会社会教育課社会教育グループまで  
【TEL5-3132 FAX5-3710】  
※芭露学園は学校で取りまとめを行います。

## ◆ 対象と種目

## 【スケート競技】

幼稚園・保育所⇒50m(イス押し、イスなし)

小学生⇒50m(イス押し、イスなし)、100m、200m、300m、500m、600mリレー(4人1組)

中学生・一般⇒300m、500m、600mリレー(4人1組)

※1人2種目までとします。尚、イス押しは100mを滑ることができない子が対象です。

※スケート種目に参加した人全員に参加賞があります。

【アトラクション】 ・人間ダイビング(小学生以上) ・チョコレート拾い(幼稚園・保育所～中学生)



## ～ お 願 い ～

この大会は公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染症予防ガイドライン」に準じた新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策をつぎの通り実施し開催します。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

■当日の朝の検温をお願いします。発熱やせきなどの自覚症状がある場合は参加をお控えください。

■マスク(ネックウォーマー・フェイスマスク)の着用をお願いします。■大会では、距離を保ち、接触を最小限にします。■情勢によっては、直前での中止や内容変更となる場合があります。

## ● フロアボールでいい汗かいたね!~チャレンジスポーツスクール~

12月5日、湧別総合体育館で第5回目となる「チャレンジスポーツスクール」が開催されました。今回挑戦した競技は「フロアボール」。室内アイスホッケーのようなスポーツですが激しくぶつかり合うことは禁止されているため、子どもでも楽しめる競技となっています。

講師には、北海道フロアボール普及プロジェクトより代表の梅田弘胤さん（遠軽町）とサポート2名の方にお越しいただき、スティックの持ち方やボールの転がし方、シュートの打ち方や的当てゲームを行いました。

子どもたちは、普段あまり触れることのないスティックとボールに興味津々で、楽しそうにフロアボールを行っていました。



### ◆義務教育の援助制度があります。◆

経済的理由によって、就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品などの経費を援助する国の制度があります。

対象となる方は、生活保護の基準とほぼ同程度の低所得世帯の方です。

援助を希望される方は、現在通学している小・中・義務教育学校、もしくは入学予定の小学校にお申し出の上、必要書類を提出してください。

なお、不明な点がありましたら、教育総務課学校教育グループにお問い合わせください。

【連絡先】 教育総務課学校教育グループ 電話5-3143

## 「レ・エッセイ」図書館協議会委員さんのある一日」第123回

### 「赤い表紙の黄ばんだ本」

湧別町図書館の書棚にひっそりと収まっている赤い表紙の黄ばんだ本。司書さんにすすめられなければ決して手に取らなかったであろう一冊。「伝蔵と森蔵」（1976年出版著者小池喜孝）

秩父事件（1884年）に指導的立場に関わり、その後逃亡、名前を変えて北海道に潜入した伝蔵と森蔵を主軸とした記録です。二人に関わりのある人々を訪ね、小さな点を線にしていくような作業は緻密な発掘作業を思わせます。「後藤平吉」なる人は、事件時、乙大隊長として活動した「飯塚森蔵」でありました。彼の妻は島田タマ。我が町湧別で、当時丸玉旅館を営んでいた島田長吉の娘なのです。森蔵夫婦は子どもたちを他家へ養子に出し、中でも二人の子はウタリの元へやり、自分たちも白糖のコタンの片隅で粗末な小屋に住まい暮らしたのでした。

秩父事件のことも、事件と北海道の、特に湧別との関わりなど全く知らないことでした。

図書館に眠っていた一冊の本は、私の興味を広げてくれました。郷土の歴史、アイヌ民族、北方の島々、新しい世界を楽しんだこの一年でした。

図書館協議会委員 菊地 京子

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

# ● 今月の読書・本についての名言・格言

世界の偉人や有名人たちは、本にまつわるステキな言葉をたくさん残しています。毎月その中から、読書のきっかけになれるように紹介していきます。

今月は、**ベーコン**（イギリスの哲学者）

「ある本はその味を試み、ある本は呑み込み、  
少数のある本はよくかんで消化すべきである。」

「随筆集」中央公論社



# ● リーディング倶楽部たんぽぽの皆さんが活躍中です。

11月11日、毎週水曜日に1～3年生を対象に読み聞かせボランティアを行っているリーディング倶楽部たんぽぽ（代表 小松初恵さん）から、湧別小学校（校長 秋山康則さん）へ本が寄贈されました。子どもたちが本に親しんでもらえるようにと、毎年寄贈されています。秋山校長は、「子どもたちのために大切にに使わせていただきます。」と受け取りました。



「リーディング倶楽部たんぽぽ」は、今年度に公益財団法人読書推進運動協議会から優良読書グループとして全国表彰を受けました。これは、長年にわたり地域の読書活動の推進に寄与している活動を認められ授与されたものです。

10月28日に文化センターさざ波で行われた伝達式にて阿部教育長より賞状が伝達され、同クラブ代表の小松初恵さんが受け取りました。小松さんは「絵本は子どもだけでなく大人も楽しめるということを広めたいです。これからも活動を楽しく長く続けていきたいです。」と話し、今後の活動にも意欲を示していました。リーディング倶楽部たんぽぽの皆さん、おめでとうございます。

## 蔵書紹介～道東地区を紹介する冊子『.doto(ドット道東)』

「日本地域情報コンテンツ大賞2020」の地方創生部門で最優秀賞を受賞した「.doto(ドット道東)」を中湧別図書館と湧別図書館で所蔵しています。道東を拠点に活動している若手制作者らが発刊したおしゃれで、魅力的な地域誌です。

2020年6月にクラウドファンディングで発行された同書は、十勝、釧路、帯広、根室が紹介されている道東地区のガイドブックで、制作にかかわったグラフィックデザイナーの鈴木美里さん、ライターの絹張蝦夷丸さんは湧別町出身です。

北海道のガイドブックは、毎年多数出版されますが、道東地区を中心に紹介した本は、なかなか発行されないのが大変貴重な情報誌です。



## 『古本コーナー』を常設しています

図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、9月から両館の入口前に「古本コーナー」を設置しています。

毎年開催していた「古本市」を比較すると小規模スペースになりますが、随時本の入替を行い、常設していますので、ご自由にお持ち帰りください。



### 中湧別図書館

【場 所】・中湧別図書館玄関前  
 【休 館 日】・月曜日、図書整理日  
 【開館時間】・午前10時から午後6時



### 湧別図書館

【場 所】・湧別図書館ロビー  
 【休 館 日】・月曜日、図書整理日  
 【開館時間】・午前10時から午後6時

## 2月の図書館休館日

1日(月曜日)～2日(火曜日)、8日(月曜日)、15日(月曜日)、22日(月曜日)

【開館時間】10:00～18:00

【貸出冊数】ひとり何冊でも借りられます。 【貸出期間】2週間

【ホームページ】<https://www.town.yubetsu.lg.jp/st/lib/>

【連絡先】中湧別図書館 電話 2-3150 湧別図書館 電話 5-3122

lib-n@town.yubetsu.lg.jp

lib-y@town.yubetsu.lg.jp

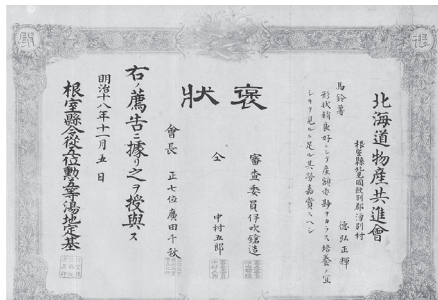
博物館シリーズ

開拓者とジャガイモ

博物館だより

—ふるさと館 JRY・郷土館—

【第132号】



褒状 (ほうじょう) 徳弘正輝 1885年 (明治18)

【湧別最古の農業の記録】

湧別町所有の最も古い農業資料は、初期の開拓者、徳弘正輝 (とくひろまさてる) のジャガイモの賞状です。1885年 (明治18) 根室で行われた北海道物産共進会で、出品 3,000 点の中から選ばれた記録です。湧別町の数少ない明治期の資料であり、屯田以前の開拓の貴重な記録でもあります。現在、1階展示室に展示してありますので、ぜひご覧ください。今回はこの記録にある「ジャガイモ」と開拓者について考察してみます。

【死の国 蝦夷地】

江戸時代、本土の人が北海道で安全に越冬出来るのは西海岸は増毛まで。防寒、栄養等が不十分だったのでそれより奥は死の国と言われていました。冬に新鮮な野菜や魚が入手できない土地ではビタミンC欠乏症である壊血病 (かいけつびょう) などが深刻な問題だったからです。大航海時代の船乗りたちも苦しめられた壊血病は、からだの各部位からの出血があり最後には死に至ります。実際、1807年 (文化4)、津軽藩兵100名が北方警備のために斜里で越冬しました。流水で魚も入手できず、保存食だけの食事のため、春までに72名が壊血病など主にビタミン不足が原因で死亡しています。ビタミンの補給は北海道での越冬での大きな課題でした。しかし明治期の開拓者に壊血病の記録はほとんどありませんでした、なぜでしょうか。

【ジャガイモとビタミンC】

当時、対岸のロシア人はジャガイモと魚で元気だったといえます。現代の指針では成人でビタミンCの推奨量は100mg/日、ジャガイモ100g(蒸し)には15mg含まれているので計算上は、一日6~7個のジャガイモを食すれば、ビタミンC不足にはならないことになります。さらにジャガイモに含まれるビタミンCはでんぷんに囲まれているので、加熱しても残存率は高く、ジャガイモはビタミンC摂取源としては非常に優れています。ロシアの人々が越冬できた要因のひとつにジャガイモのビタミンCがあったのです。

【北海道、湧別とジャガイモ】

安政年間 (1854~1859) に樺太経由でロシア人が北海道へジャガイモを伝えたという説もあります。またそれ以前に北前船が漁場で働く人々の越冬食としてジャガイモを伝えていましたが、オホーツクには明治期に、開拓者とともに栽培が広がったとされています。

湧別でも徳弘さんと同じように開拓者が最初に植えた作物の一つはジャガイモ。地中に埋めて保存し、年間の主要な食料にしていました。明治期開拓の記録に壊血病があまり出てこない理由の一つには、ジャガイモと考えられます。もし本土と同じように米食にこだわっていたなら、江戸期のように越冬は難しかったかもしれません。現代の私たちにとっては身近な野菜の一つにすぎませんが、開拓者にとっては命をつなぐとても重要な野菜が「ジャガイモ」だったのでした。

開拓期のジャガイモ

徳弘さんのジャガイモの品種は残念ながら記録がありません。ただ当時栽培の主流は「根室紫 (ねむろむらさき)」と「屯田薯 (とんでんいも)」。「根室紫」は表皮色は紫。1878年 (明治11) 札幌の農業博覧会で根室から初めて出品されました。日本にごく初期に伝来したジャガイモだとされています。「屯田薯」も表皮色は紫で、粘り気があり餅について食べたといいます。両種とも1900年 (明治33) 頃の疫病で栽培は激減。以降は、北米から取り寄せた「男爵」などの品種へと変わっていきました。



根室紫



屯田薯

出典  
・『北海道農事試験場報告1号』1903年 (明治36)  
・農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター web

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2021年1月号 No.132

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1  
https://www.town.yubetsu.lg.jp/

印刷…北湧印刷 (湧別町緑町) 発行…令和3年1月25日

記事へのお問い合わせは下記へ

\* 社会教育課社会教育グループ 電話: 01586-5-3132 FAX: 01586-5-3710  
メール: shakyo@town.yubetsu.lg.jp

\* 湧別図書館 電話: 01586-5-3122 FAX: 01586-5-3256

\* 中湧別図書館 電話: 01586-2-3150 FAX: 01586-2-3190

\* ふるさと館 J R Y 電話: 01586-2-3000 FAX: 01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。